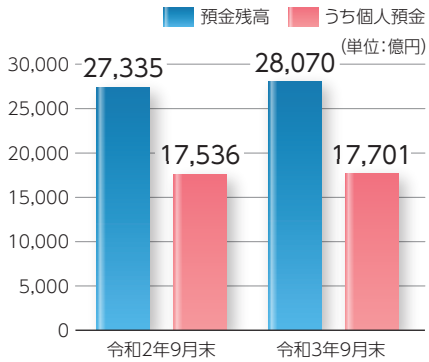


## 業績の概況

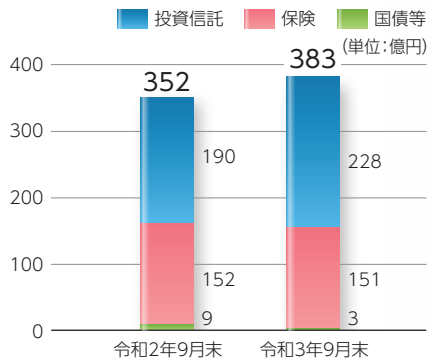
### Q 預金や預かり資産の推移はどうか？

A 預金、預かり資産ともにお客さまからの幅広いご支持をいただき、堅調に推移しています。

#### ■ 預金残高／うち個人預金



#### ■ 預かり資産残高



イメージキャラクター

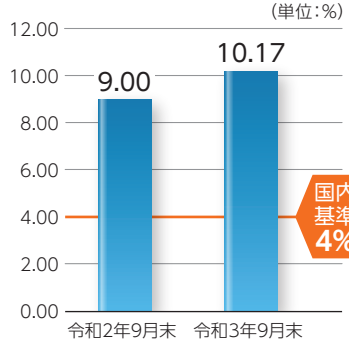


三倉 茉奈 三倉 佳奈

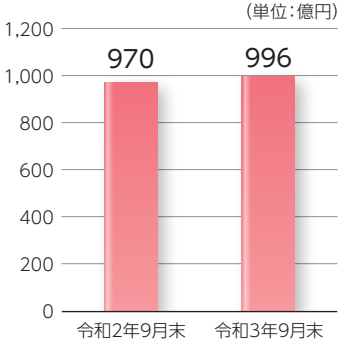
### Q 健全性はどうか？

A 自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る10.17%を確保しました。

#### ■ 自己資本比率



#### ■ 自己資本額



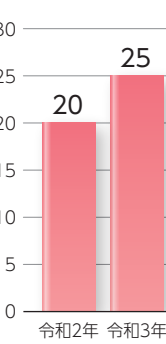
#### 自己資本比率とは

貸出金、保有する有価証券などの資産に占めるリスク額に対して、自己資本(出資金や内部留保など)がどれだけ占めるかを表したもので、金融機関の健全性を示す指標です。当金庫のように国内業務に特化している金融機関は、最低4%が基準(国内基準)として定められています。

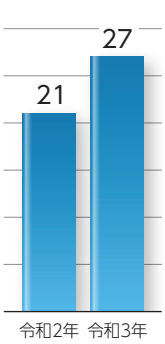
### Q 収益力の推移はどうか？

A 安定した収益を確保し、高い健全性を維持しています。

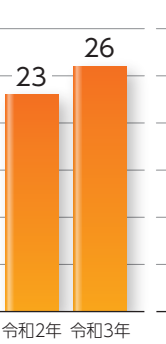
#### ■ 業務純益



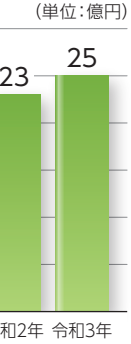
#### ■ コア業務純益



#### ■ 経常利益



#### ■ 当期純利益



#### コア業務純益とは

業務純益から国債等の債券売却損益等や、一般貸倒引当金繰入・戻入の特殊要因による影響を除いた、実質的な信用金庫の期間収益力を表す指標です。

### Q 有価証券の運用状況はどうか？

A 流動性、安全性を重視し、債券を中心に運用しています。

■ 売買目的有価証券 → 該当ありません。 ■ 満期保有目的債券で時価のあるもの → 該当ありません。

#### ■ その他有価証券で時価のあるもの

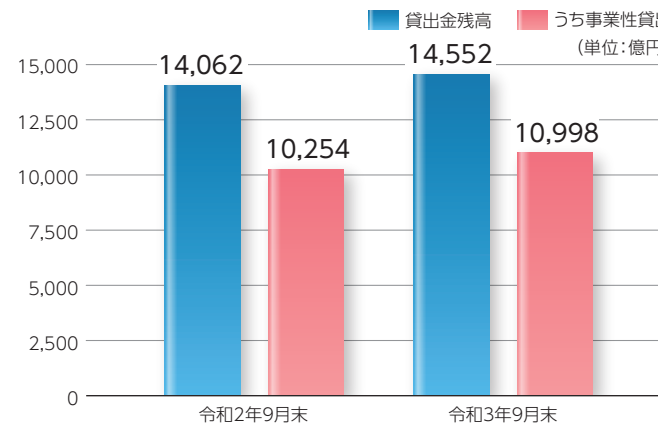
区分	令和2年9月末					令和3年9月末				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額			取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	評価差額		
			うち益	うち損				うち益	うち損	
株式	823	1,058	234	326	92	776	1,125	348	393	44
債券	342,457	344,885	2,427	3,656	1,229	362,143	365,517	3,373	3,861	487
国債	45,785	47,183	1,397	1,473	75	50,694	51,779	1,085	1,188	102
地方債	25,296	25,854	558	559	0	61,708	62,030	322	369	47
社債	271,376	271,846	470	1,624	1,153	249,740	251,706	1,965	2,303	338
その他	93,941	92,388	△ 1,553	304	1,857	66,814	67,138	324	646	321
合計	437,223	438,332	1,108	4,287	3,179	429,733	433,781	4,047	4,901	853

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいています。 2. 上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。

### Q 貸出金の推移はどうか？

A 中小企業の景況が厳しいなか、お取引先事業者の資金繰り支援や課題解決型融資を推進しました。

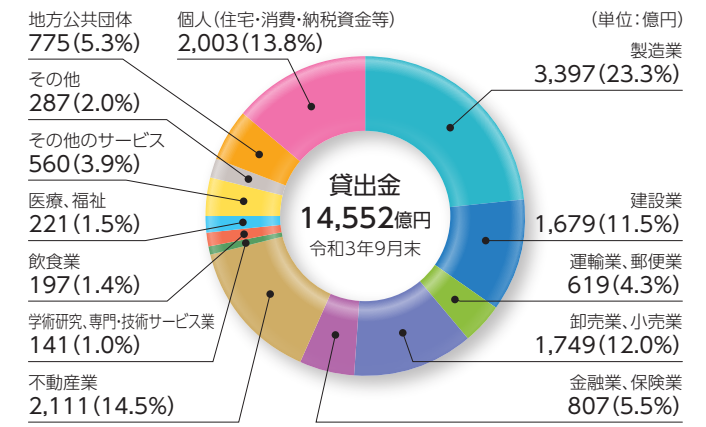
#### ■ 貸出金残高／うち事業性貸出



### Q 業種別の貸出金の状況はどうか？

A 製造業を中心にバランスを考慮した融資を行っています。

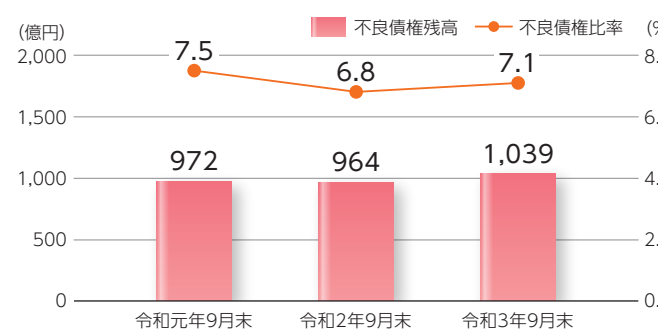
#### ■ 業種別貸出金残高状況



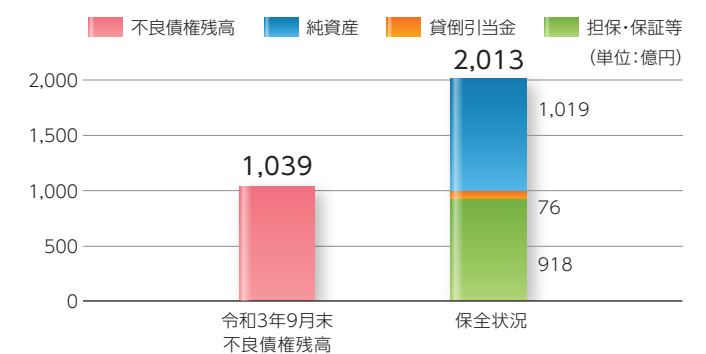
### Q 不良債権の状況はどうか？

A 中小企業の景況が厳しいなか、お取引先事業者のモニタリングを行い、経営改善支援に全力で取り組んでいます。また、不良債権につきましては、担保・保証によるカバーや自己資本の充実にも努めることにより予想される将来の損失を含め、十分な保全を図っています。

#### ■ 不良債権残高／不良債権比率



#### ■ 不良債権に対する保全状況



#### ■ 金融再生法開示債権に対する保全状況

債権区分	開示残高(a)	保全額(b)		保全率(b)/(a)	引当率(d)/((a)-(c))
		担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)		
金融再生法上の不良債権	令和2年9月末: 96,447 令和3年9月末: 103,991	91,823 99,463	82,116 91,819	95.21% 95.65%	67.73% 62.80%
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	令和2年9月末: 31,201 令和3年9月末: 30,439	31,201 30,439	23,536 24,211	100.00% 100.00%	100.00% 100.00%
危険債権	令和2年9月末: 63,088 令和3年9月末: 71,257	59,249 67,437	57,404 66,164	93.91% 94.64%	32.46% 25.00%
要管理債権	令和2年9月末: 2,156 令和3年9月末: 2,294	1,371 1,586	1,175 1,444	63.59% 69.15%	19.96% 16.77%
正常債権	令和2年9月末: 1,322,002 令和3年9月末: 1,363,850				
合計	令和2年9月末: 1,418,450 令和3年9月末: 1,467,841				

■ 解説  
 (1) 金融再生法開示債権の対象債権は、貸出金・未収利息・外国為替・仮払金・貸付有価証券・債務保証見返・当金庫の保証付私債です。  
 (2) 「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続き等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権です。  
 (3) 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受け取りができない可能性の高い債権です。  
 (4) 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」および「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。  
 (5) 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。  
 (6) 「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しています。